

地震予知は電磁地震計で可能

地震予知は

揺れを計る地震計では無く
電磁気を観測すれば

1週間(~3日前)に判ります！

予知の3原則

いつ = 1ヶ月以内

どこ = 地方単位

大小 = MG又は震度 ± 1

～ JYAN研 = 数日前

～ JYAN研 = 県単位

～ JYAN研 = $\pm 0.5 \sim \pm 1$

最も正確だから

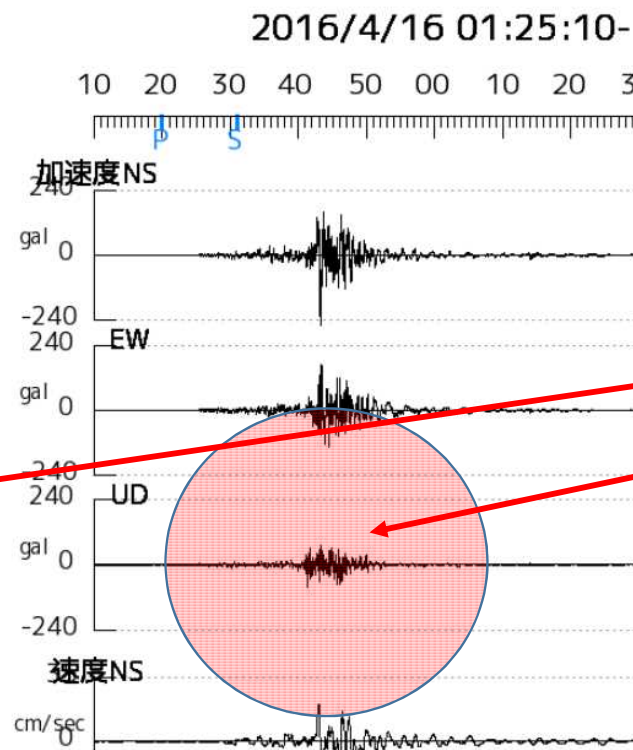
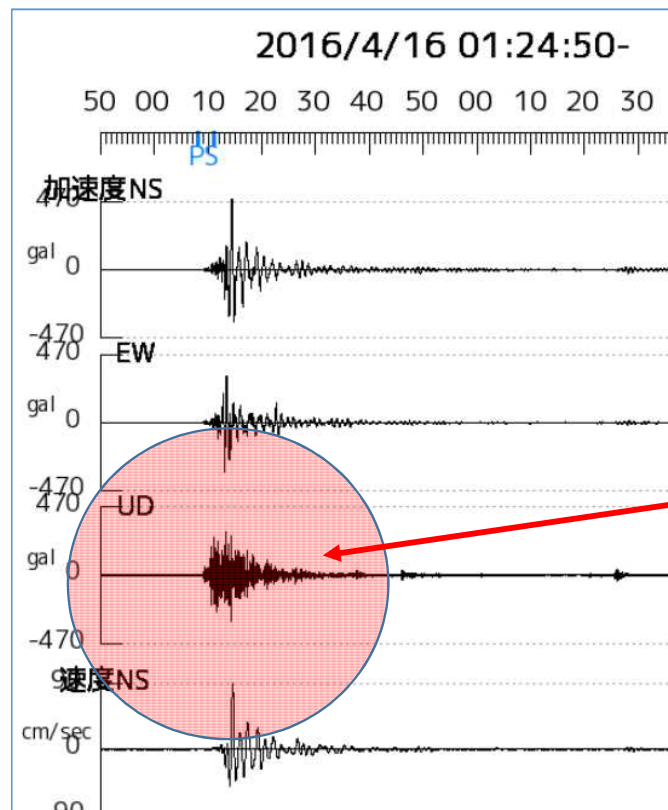
夢の地震予知を実現するJYAN研

國 廣 秀 光

FM等電磁波の観測網で 200波以上LIVEで観測中!!



熊本地震のデータ「**縦揺れ**」が激しい！
(地震は揺れ方によって破壊度が違うのだ。)



これで棟が破壊
強震&縦揺れ！

赤丸部分が
上下動です

震源と阿蘇では
こんなに違う！

資料

地震予知
を目指す
HAM連合
の研究会

JYAN研究会の紹介

- ・2007年 5月 災害情報学会、日本地震学会などに入会、その後日本地球惑星科学連合学会入会
- ・2009年 5月 ハムの月刊誌「CQ」で4月・5月に研究会員募集、15名でJYAN研究会発足
- ・2009年10月 日本地震学会(京都大学)で地震電磁波などの監視方式などを発表
- ・2011年10月 日本地震学会(静岡)で電磁気などの異常理論を発表
- ・2012年 8月 東京ビッグサイトのハムフェアに出展(このときから、毎年展示～連続5回)
- ・2013年 7月7日 JYAN大分ネット第2回総会で研修会を実施
- ・2013年10月2日 産経新聞夕刊「1面トップ」にJYAN研究会紹介
- ・2014年 3月14日 2時7分頃伊予灘で地震発生 全面記録できる
- ・2014年12月25/26日 日本地震予知学会(電通大)で2項発表
- ・2015年 5月25日～26日 JGUの学会大会(幕張)2項の発表
- ・2016年4月14&16日の熊本地震でM7クラスが2回来る事を観測と予測できたのはJYAN研のみ！

学会等の発表及び講演 日本地震学会4回、JGU3回&講演21回 16年のニュースレターにJYAN研載る！

記事＝CQ5回新聞4回 観測網は全国で50局が(200波)を観測中！

会 長 JH6ARA 國 廣 秀 光

地震予知アマチュアネット(電磁Proの地震前兆ノイズ研究調査会)

会 員 ML等で 350名超

大分県 国 東 市

JYAN研究会
とは

地震予知安全Net
(JYAN)

地震予測観測網
(FM観測網)

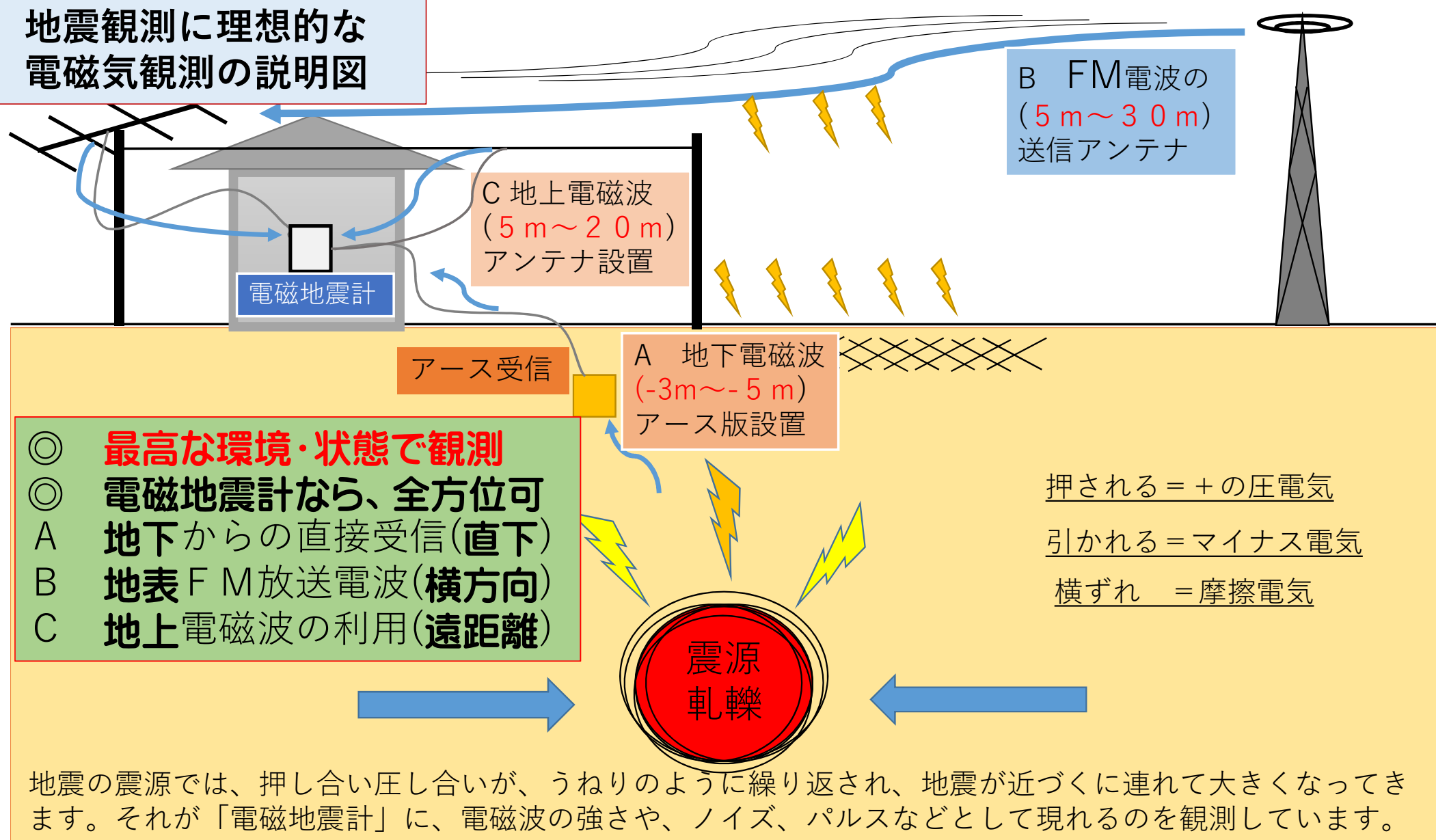
JYAN研究会
全国に
MI約 3 5 0 名

観測網 5 0 名以上

広報サイト
もあります。

<http://pr.jyan.jp/>
<http://jyan.biz/>

地震観測に理想的な 電磁気観測の説明図

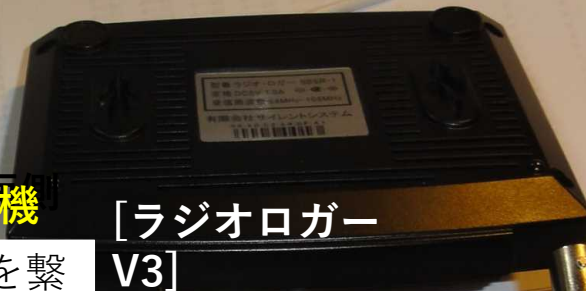


地震電磁地震計の現用機

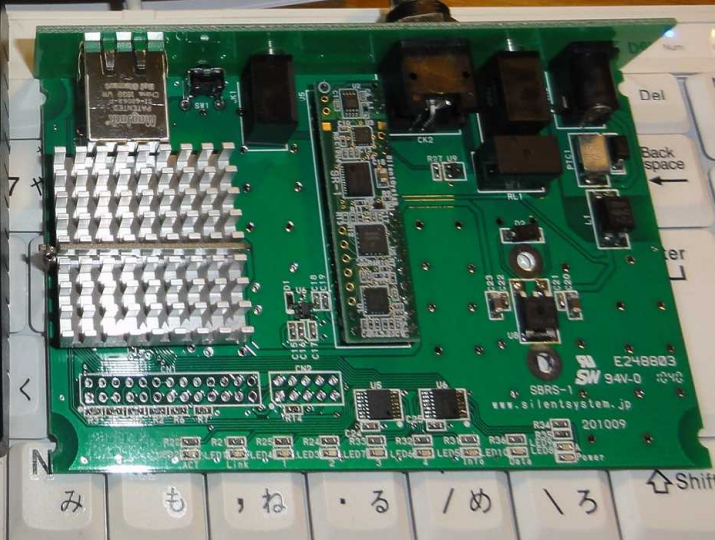


試作2号機

A N Tと電源、LANケーブルを繋ぐと全国ネットのサーバーに接続し、4 c Hの観測を開始します。
(事前設定済)



[ラジオロガー
V3]



今度は・・・

最先端の観測技術
に新発想のIT技術
地震観測専用の
◎電磁気地震計と
◎観測システムを
試作中です。

21年の地震研究
50年の無線技術
10年の学会研修
観測の記録10年

これらが融合して
世界最先端の
地震観測システム
ができるのです。

電磁波観測装置と無線機群！

輸入の高級スペアナやSDR等＝プロ級



上は、無線の送受信機群
オールバンド全モードで
ハンディ機を含めると約30台
観測系は専用受信機8台
パソコン装置7台が稼働中！
貸出し装置は23台他多数有

下は（アース抵抗）
スペアナ装置
オシロスコープ
三種の神器等の
必要計器は殆どある。
プロ級の研究室だ。



左の装置群は
これ迄地震観測に
利用した装置群！
しかし
これからは・・・
I T (情報技術)
A I (人工知能)
A R (拡張現実)
等のテクノロジー
を活用した機器の
開発が、世界を
リードします。

- ・産経新聞(10.2日)
- ・夕刊「1面トップ」に
- ・掲載されました。
- ・2013年10月2日
- 「Web版」msn
- 産経も見られます。

その他
各種新聞や雑誌に載り
ました。

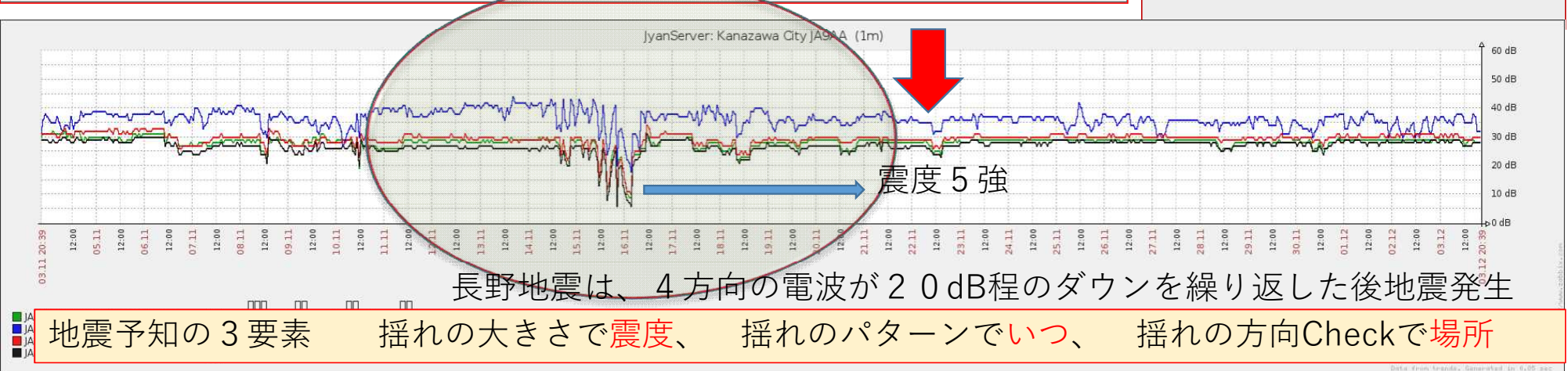
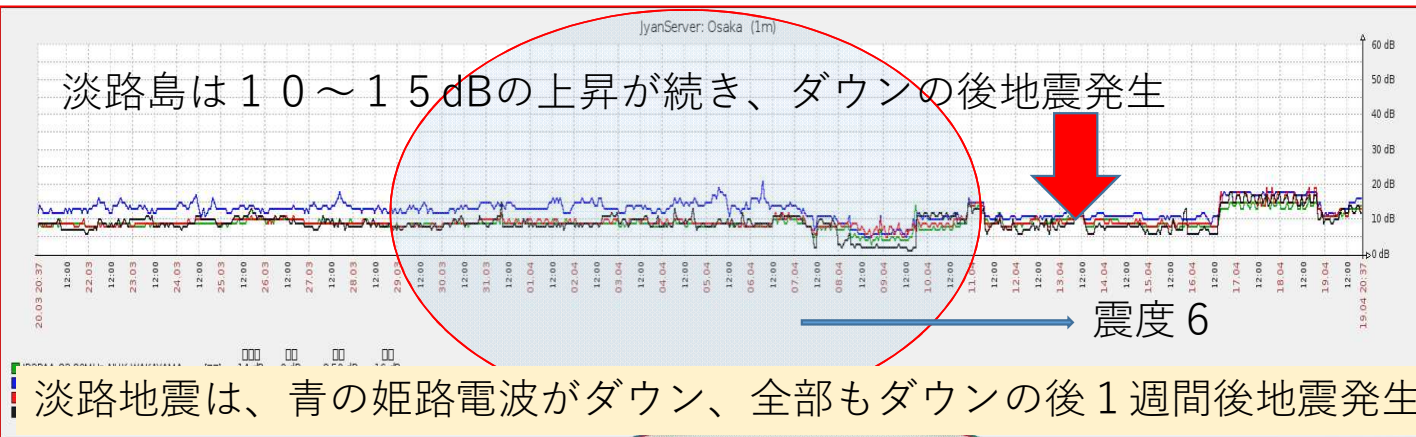
[illegible]

地道な勉強や資料調べ
地震の勉強
地球の勉強
宇宙の勉強
電磁気の研究
ノイズの観測
地球と太陽系の研究
引力や潮汐の研究
電磁波伝搬の研究
気象変化の研究
電波伝搬の研究
低周波の観測
中波の観測
短波の観測
F M波の観測
V/U波の観測
異常伝播の観測
各種記録データ纏め
各種現象の照合
新現象の発見
地震と電磁変化
の発見証明 21年間

地震の観測例 (どちらも1週間後に地震発生) 淡路島地震 と 長野地震

淡路島は
レベルアップ 当観測は
(逆断層型) = これって
(2013年4月) 凄い

長野地震は
レベルダウン
(正断層型) = これも凄い
(2014年11月)



資料

HAMの「社会貢献」 月刊CQ誌に5回掲載！

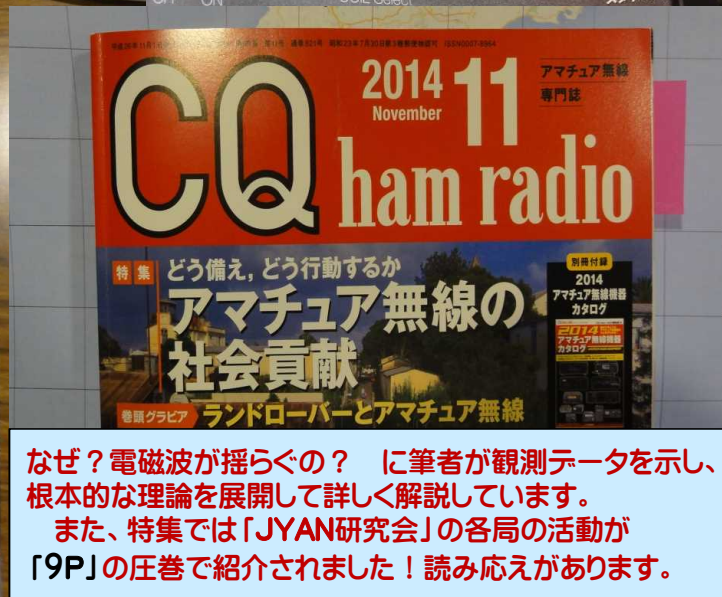
ハムなら地震予測ができる！ 2009年4月&5月号で、
地震研究と観測技術や理論等を展開しました。！



「どうして地震の前にノイズがでるの？」
に実例を示して優しく解説しています。4P



電磁気観測による「地震予知」の根本原理が次第に明確になってきました。今月号は、地震を予測し、命の安全確保と予測観測の活用を薦めています。(5Pでの解説)

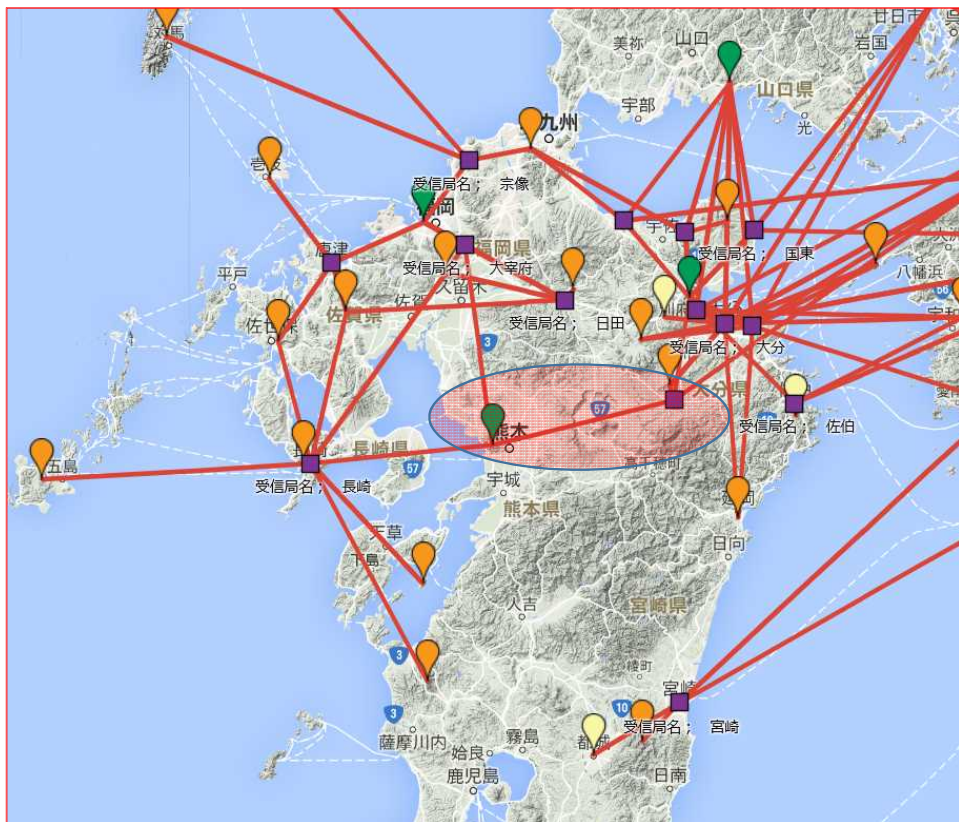


なぜ？電磁波が揺らぐの？ に筆者が観測データを示し、
根本的な理論を展開して詳しく解説しています。
また、特集では「JYAN研究会」の各局の活動が
「9P」の圧巻で紹介されました！読み応えがあります。

最初に取り上げてくれたのが
2009年4／5月号です。
次が2010年の2月号で、多くの何故？や、
理論に答えています。
2013年10月号Amateur無線家の社会貢献
と言う内容で掲載されました。

2014年11月号は9Pの圧巻です。
研究仲間も多く出ました。





上 現在、九州の観測
状況図=竹田局捕捉！

熊本県の知人(6人)に観測の協力を依頼しましたが、
熊本は地震が無いところだから。という事で熊本県
には、当地震観測網の局がありませんでした。
そんなところに限って・・・・・・・・。

下 全国の観測網 予定図200~600局

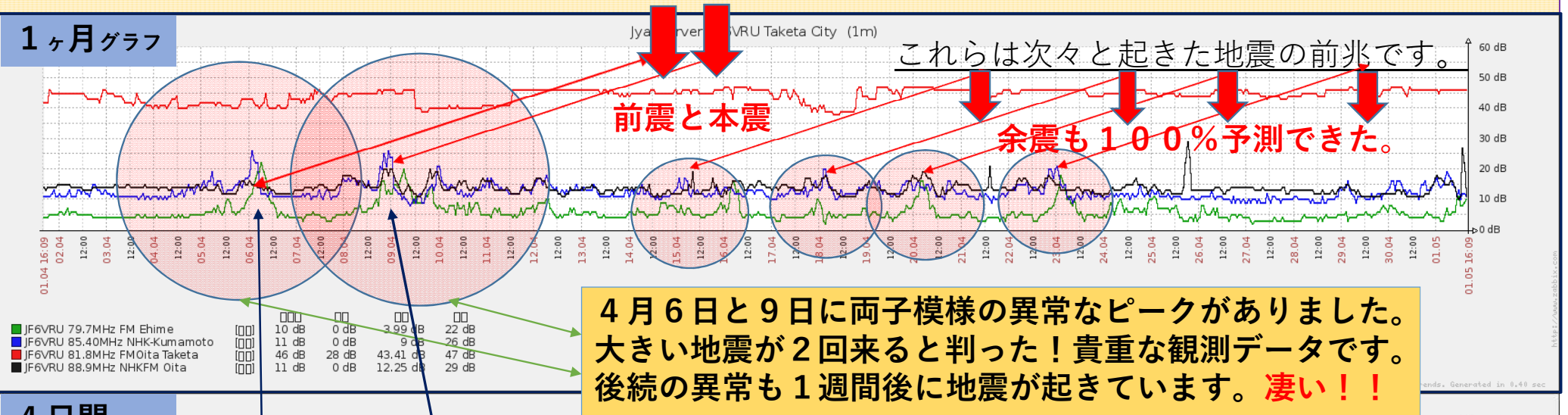


毎日24時間の観測と記録

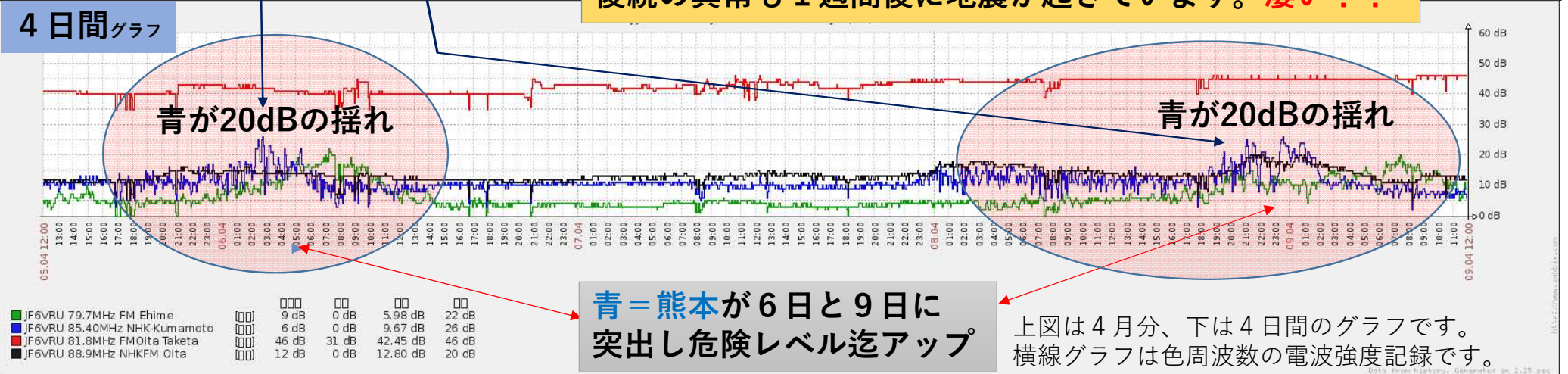
- 全国でFM観測網が**43局 200波**超の観測と記録
2010年から**7年間**継続しています。
- 全国でHF観測網が7局 **HF全波**の観測と記録
2006年から観測網として継続しています。
- 全国でVHFの観測網5局 **異常**が出たときに観測します。
観測網があります。 **記録用ハードディスクが50個**

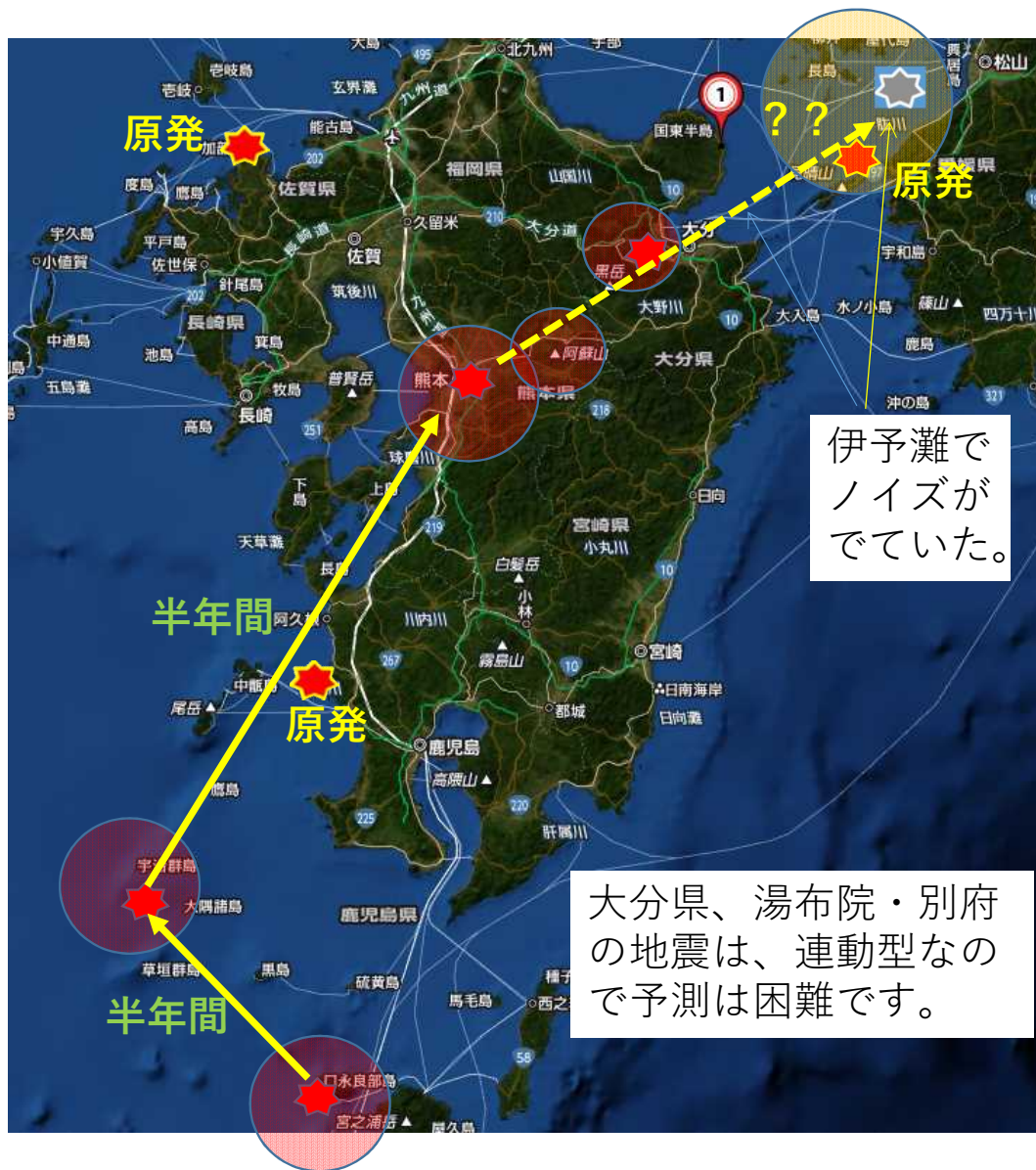
絶賛 正確な観測で「余震」まで確実に予測できた。

1ヶ月グラフ



4日間グラフ



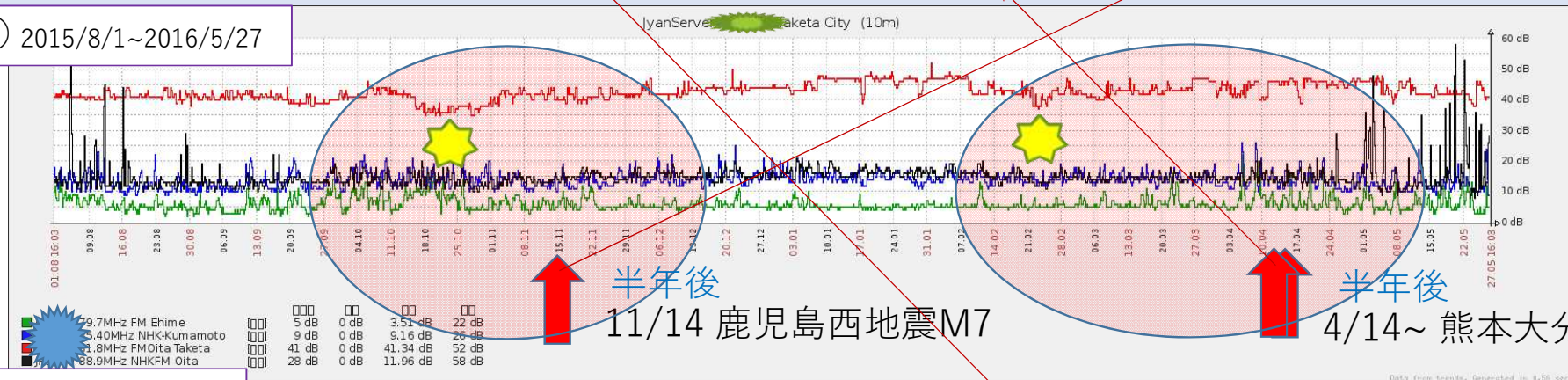


地震と火山は連動しています。
喜界島、阿蘇山等がカルデラ陥没と言われています。(しかし別府湾や鹿児島湾、志布志湾も同様と考えています。)

噴火があると空洞の穴埋めで、横ずれの地震が発生し、連動型の地震を励起します。

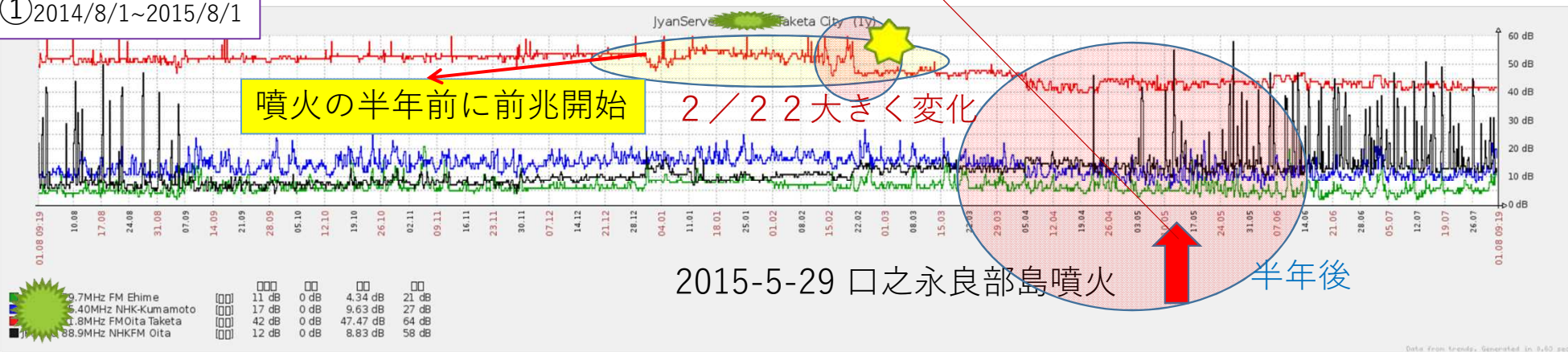
口之永良部島の**噴火**から、半年後に **鹿児島西M7**
 その半年後に**熊本-大分地震M7.3**が発生！ **今度は10月？**

② 2015/8/1~2016/5/27



大当たり

① 2014/8/1~2015/8/1



私は 地震学術 3 学会員です

- 日本地震学会、日本地震予知学会、日本地球惑星科学連合学会の学会員です。
- 地震予知学会は発足時の検討会委員を勤めました。（17名）
- JYAN研究会(地震予知アマチュアネット)と地震予測観測網を主宰しています。
- J Y A N研究会のHP閲覧者が増え、地震予測の配信希望者が増えています。
- 研究会の会員（ML）は約350人で、常時観測しているNet会員は約50局です。



上 地震予知研究センターの センター長 長尾年泰教授

- 地震予知関係コメンテーター
- 日本地震予知学会の副会長
(東大出身)

私の研究室を見学して、技術の高さを賞賛、論文共著の申出あり。
日本地震予知学会早川会長からも論文共著の申し出がありました。

資料

- ①JYAN研究会ホームページです。研究概要を掲載特に観測局の情報が人気です。
- ②地震予測観測網は、実際に観測している方向けのHPです。専門的な解説等が含まれています。
- ③「JYAN研」のスマホ用HPが好評です。毎日の情報が見やすいと頼りにされています。
<http://www.oct-net.ne.jp/~jh6ara/>

JYAN研究会HP地震予測観測網HP

[トップページ](#)
[HAMIC](#)
[研究会の方針](#)
[研究の概要](#)
[公開・配信の情報](#)
[観測局NET](#)
[研究会連絡事項](#)
[お問い合わせ](#)

地震の防災で、ハム(電波)と測網(FRI)と地震(EQ)学者が全国ネットで電磁気観測や地震予知の研究を行っています。
『自由な発想』と『最新の技術』を駆使して『Safe life』に向けて情報発信します。
電磁気異常の情報はHAMICで配信窓口をお願いします。

(本年も地震等の観測に変化がありしたい、地表電磁界やAM帯・短波帯、F帯等の観測から「地震等の予兆情報」をお知らせしています。地震情報ページ(詳細)や、観測情報、またNEWS & TOPICS等をご覧ください。)

NEWS

ツイート いいね! シェア

② (JGU学会発表内容) 2015年5月25日～26日 JGUの学会大会が24日～28日まで幕を閉じました。当研究会から私(会長 齋藤)が25/26両日に渡って発表致しました。主旨は「カーの観測」した内容です。特にFM観測で、電磁気異常から潮汐が同期して移動、地殻変動から電磁気異常、電磁気異常から地震予知へと発展する大発見となり、震前兆の観測ツールとして関連性が証明され、予知情報の観測ツールとし、メカニズムとなります。詳細は「研究の概要」ページをご覧ください。なお、今後は観測に期待が寄せられるようになります。見逃しの無い「地震前兆情報」ページにしたい。

配信サービス

地震情報

観測局情報

HAMIC配信窓口

①左はJYAN研究会(公開中です)

②地震予測観測網(観測網会員のみ) 左下は

③HAMIC FS(未公開)

地震予測観測網

TEL.0978-72-2643 FAX.0978-72-3641 〒873-0503 大分県国東市国東町鶴川11737番地

トップページ(新着情報は最下段をご覧ください) 研究方針と活動Report 研究概要 観測NET 研究発表(学会他) CQ誌掲載

入会のご案内 お問い合わせ ブログ 観測と異常変化の状況 地震警戒情報 HAMICとその運用

0 3 6 9 12 15 18 21 24 27

-24 -32 -40 -48 -56 -64 -72

-24 -32 -40 -48 -56 -64 -72

2015年(平成27年度)からの方針について

先般、観測網各位に伺いましたJYAN研究会や地震予測観測網の活動方針ですが、お概ね了承されました。ただし、次の意見がありましたので、活動計画に生かしたいと思っております。以下にその概内容をアップします。

地震予知アマチュアネットワーク会員、且つ、地震予測観測網協力局の皆様へ(ご意見を募集します)

年3月29日 JYAN研究会の目標及び方針のVupについて JYAN研究会 会長 齋藤 春彦様、皆様には遅やかにお返事申し上げます。また、平素から地震研究と電磁気観測の協力をお願いして誠に有難うございます。さて、新しい年度が始まります。

最近の投稿

地震予知学会のお披露目式Report

サイバー攻撃? 撃退

電磁気観測と解析業務について

九州一の久住連山

HAMIC=FORESIGHTは地震予知を専門とする安全推進研究所です。

BS HAMIC (FORESIGHT) TEL. 0978-72-2643 〒873-0503 大分県国東市国東町鶴川11737番地

トップページ 観測局NET 研究会の方針 研究の概要 公開・配信の情報 観測局NET 研究会連絡事項 お問い合わせ

突然襲ってくる巨大地震! (阪神淡路や東日本大震災等々) その悲惨さから震災を防ごうと研究を始めて20年! ハムの経験から、斬新的な電磁気理論と地震予知システム予想を構築し、全国的な観測網などで、震源の動きが、電磁気観測から見えてきました。地震予報や、研究がもたらした安全備品で「震災を予防する暮らし」を提案できます。

HAMIC=FORESIGHTは「地震の予防」を専門とする安全推進研究所です。あらゆる災害を予防し、安全で快適なライフスタイルに変わる防災備品をお届けします。

サービス service

採用情報 recruit

アクセス access

TOPICS & CONCEPT

HAMIC(FORESIGHT)

結 論

- 地震予知は、電磁的に観測すれば「**可能！**」
(熊本地震で、2回来るのが判っていたのはJYAN研のみ！)
- 全国に電磁地震計を600ヶ所以上必要（地震計約3,900所）
（当面200ヶ所で、重要拠点又は地域から敷設中です。）
- 観測システムと観測網の敷設が必要です。
- 観測及び協力者募集中（**JYAN研**）